

杉並区立西田小学校 令和3年度第3回 学校運営協議会記録

- 日時 令和3年7月26日(月) 16時10分から16時55分
- 場所 校長室
- 出席者 諏訪会長
 - 【委員】成田職務代行(司会)、鈴木校長、恵羅、渡邊、山内、中澤、半澤、目黒、望月、檜枝(記録)
 - 【事務局】神近副校長
 - 【欠席】なし
- 資料 資料1 令和3年度 第3回学校運営協議会次第
 - 資料2 「個別最適」と「タテ社会」(諏訪会長資料)
 - 資料3 Finnish Lessons by Pasi Sahlberg(諏訪会長資料)
 - 資料4 1学期の振り返り、2学期の予定(校長資料)
 - 資料5 なみすく2021夏号

1 会長挨拶

- 本会に先立って行われた「第1回80周年実行委員会(地域・保護者の部)」では活発な議論が行われた。校長の「今までの型にはまったものとは違うものを」との発言に同感した。
- 前回紹介した特別講演会〔多田孝志、佐藤学、諏訪哲郎〕「未来の学校教育を創造する」が7月24日に無事終了した。
- 最近の教育改革を解説した「教育展望」2021年6月号の記事(資料2)を読んでいたきたい。
- フィンランドの教育の成功を分析した本 Finnish Lessons by Pasi Sahlberg の第3版から作成した資料(資料3)に基づいて、フィンランドとの比較で日本の教育の課題が解説された。

フィンランドでは多くを教え込まないし16歳までテストもしないがその方が良く学ぶ。日本では教員の過剰負担とカリキュラムが満杯で教え込む傾向。

フィンランドでは新自由主義的教育手法とは正反対の教育政策(競争ではなく協力)。

1970年代に行った16歳まで教育を一本化した公平性を高める学校制度改革が成功。
- 関連して、日本のGDP当たりの公的教育費が現在はOECDで最低のレベルであることが紹介された。フィンランドでは図書館が充実していて分室は日本のコンビニ程度の密度で分布している。

2 校長挨拶

- 1学期を振り返りできたことをリストにした(資料4の1)。「できることはやりましょう」という方針で行った。

- 夏休みに防火シャッターの工事を行う。
- 来年度は給食室の工事をするので、給食が提供できない時期がある予定。
- 税収減で予算が削減された。学習支援・サポーター費がほとんどゼロとなった。
- 来年度 1 年生の推定数は 142 名なので、4 ないし 5 クラスとなると予想。現 6 年生は 3 クラスなので差引 1 ないし 2 クラス増となり、現状の教室数では不足するので対策を検討中。

3 80 周年関係

- 本日（7/26）15 時から 16 時まで「第 1 回 80 周年実行委員会（地域・保護者の部）」が行われた。
- 校長から以下の発言があった。

私には思いがあるが、独走するのではなく保護者と地域の方と一緒にいきたい。

西田小はこの地に 80 年間あった。子どもに地域に出てもらい、それが詰まった記念誌を作りたい。

式典はありきたりの式ではつまらないと思う。本日の会でいろいろな意見が出て議論ができたのが良かった。皆さんの思いが動かす形をとりたい。

子ども、保護者、地域、教員が相互に対話する関係が 80 周年を切っ掛けにして充実して、「地域とともにある学校」の実質化ができないかと思っている。
- 会長から以下の発言があった。

次回実行委員会（8/23）は所用があり欠席するので、この場で校長を補足する発言をする。

ありきたりの来賓の挨拶などはいらないと思う。

西田小は 80 年の歴史があるが、現在は学校が大きく変わらないといけない時代なので 80 周年は新しい方向が出せると良い。学校は「教員が教え込む教育」から、対話をキーワードとして「子どもが学ぶ学習」への転換が求められている。例えば「青虫」が「蝶」に変身する transformation するイメージ。それにふさわしい 80 周年行事になると良い。

4 2 学期の予定

- 資料 4 の 2 にまとめた。緊急事態宣言によってできない行事が出てくるかもしれない。
- バス利用の行事は行えるか、富士移動教室は冬に行くかなど、不確定要素がある。

5 その他

- 資料の配布：なみすく 2021 夏号（資料 5）

6 事務連絡

- 次回（第 4 回）学校運営協議会開催予定
9 月 27 日（月）午後 4 時 00 分～午後 5 時 30 分

(後日、午後 3 時より第 2 回 80 周年実行委員会開催 (地域・保護者の部) が予定された)

以上